

居眠れる獅子は目ざめぬ

三国丘サッカークラブ通信



Vol.16

June 2013

590-0023 堺市堺区南三国ヶ丘町2-2-36
 三丘同窓会事務局内
 三国丘サッカークラブ 発行
 TEL/FAX 072-238-3093
<http://www.mikunifc.net>

創部100周年に向かって新体制で発足!! 会長に田守恵幸(高16回)が就任

■会長・田守 恵幸 高16回



総会で野村会長から次期会長に指名され、皆様のご推挙も有りお引き受けいたしました。野村さんには長い間会長を務めて

頂き感謝の念に堪えません。私をはじめ新スタッフはまだまだ微力であり、助力をお願いしなければと思っております。今後何卒よろしく願いたします。

さて、我が三国丘サッカークラブは、大正5年に創部され3年後には100周年を迎える歴史ある伝統のクラブです。全国大会12回出場し準優勝1回と言う輝かしい記録もあります。日本サッカー協会最高顧問の川淵三郎さんをはじめ多くの日本代表選手を輩出し、日本サッカー界を牽引してきました。

近年、文武両道の文が優先され芳しい成績を残せておりません。

来年より入学の門がより狭くなりそうですが最近では幼少の頃よりサッカーに馴染んでいる生徒が殆どで、技術的に才能溢れた生徒も入学するものと思えます。OBが待望している大阪代表の夢も近い将来可能にしてくれるでしょう。

現役選手保護者会も設立3年が過ぎ活発に応援をして頂いております。OB会も現役の支援に尽力し、今までOB会を支えて頂いた諸先輩達は勿論、若手OBの力も必要です。各世代の代表幹事として参加していただき活動を活発にしていきたいと考えております。

OBチームも堺リーグで健闘して

いますが、昨シーズンは2部に降格し、今年は1部復帰を目指し、池側正監督を中心に立川新たなキャプテンほか若いOBが集まり頑張っております。このチームはOB全員のチームです。今後の皆様の参加、ご支援、ご協力を是非お願い申し上げます。

■事務局長・畑 拓興 高22回



2013年度から三国丘サッカークラブの事務局長を担当させていただきましたことになりました。田守新会長の下、小孫副会長はじめ、幹事の皆様と力を合わせて、新生三国丘サッカークラブの行事運営を精一杯努めさせていただきます。

川淵キャプテン(日本サッカー協会最高顧問)には名誉会長としてご就任いただき大所・高所からのご助言をいただくことになりました。2013年度の年間計画推進だけでなく、来る2016年の創部100周年に向けて、会員皆様のご支援、ご協力を得て企画、推進をしていきたいと思っておりますので、積極的に参画いただくことを、是非お願い致します。

今年度の重要行事は、第20回川淵カップ(泉陽高校定期戦)です。現役のポイント戦のほか、年代別OB戦を行います。Jグリーン堺での開催は3年目になりますが、OBの皆さんも、最高の人工芝でボールを蹴ってみませんか?同窓会を兼ねて愉しみに来て下さい。三国丘SCの行事情報の共有化については、現在の課題の一つで改善の取組みをしていますが、まず同年代毎での連絡網を各年代代表者の方に把握していただく

ことをお願い致します。

当面は、この三国丘サッカークラブ通信と年代ごとの連絡網を通じて情報共有を図っていきますので何卒宜しくお願い致します。

■監督・池側 正 高28回



サッカーを通してOBが集い旧交を温めて頂けるフィールドを作る事が出来ればと考えております。

地域リーグに登録する限り"正式な""公式"チームですから、十分な参加選手が必要です。昨年は、堺一部リーグで健闘しましたが、2試合が人数不足で不戦負。今年度より二部に降格しました。また、地域リーグとは言え、勝負は"勝たない"と面白くありません。今のチームは20代が中心です。高校での実質的なチーム経験は2年程ですが、短い間でも成長期にプレーを共にした仲間とは息が合うというのは不思議な事です。学生時代にやれなかったチームプレイや個人技をこのクラブでもう一度トライしてみませんか。

ドイツのプロチーム、プレーメンは、学校のOBチームからスタートして欧州を代表するクラブになりました。遠大な夢ですが、Jリーグ初の地域の学校が母体となったプロチームが出来ればと思っています。

三国丘SCチームの問合せ先は—

- 田守 恵幸(高16)090-3284-7382
shigeyukitamo@yahoo.co.jp
- 小孫 英樹(高21)090-1141-9144
h-komago@komaq.jp
- 畑 拓興(高22)090-8790-5791
takuhata@bea.hi-ho.ne.jp
- 池側 正(高28)090-1025-2500
ikegawat@gmail.com

三国丘サッカークラブ役員

相談役(前会長)	野村 憲司(高4回)
名誉会長	川淵 三郎(高7回)
会長	田守 恵幸(高16回)
副会長	小孫 英樹(高21回)
事務局長	畑 拓興(高22回)
会計	森田 秀隆(高22回)
幹事(三丘サッカー東京幹事長)	濱崎 勝久(高9回)
幹事(事務局次長)	棚橋 敬(高24回)
幹事(三丘同窓会渉外担当)	中川 義博(高27回)
幹事(OBチーム監督)	池側 正(高28回)
幹事(各世代代表)	太田 勝啓(高34回)
幹事(同)	森田 大介(高42回)
幹事(同)	森岡 久美子(高42回)
幹事(同)	立川 新た(高50回)
顧問	
三国丘高等学校学校長	田中 満公子
顧問	
同校 サッカー部顧問兼監督	丸山 明

おめでとうございます!!

武井昇さん(堺中32期) 満100歳に!!

我が蹴球部部歌の作詞者で、また堺中蹴球部の昭和初期の黄金期を築かれましたお一人です。本年1月2日満100歳を迎えられました。

お元気に日々をお過ごしです。OB一同心より益々のご長寿をお祈りします。



2009年「三丘サッカー東京」発会式に出席の武井昇さん(中央)

ムに増え、4月から3月まで各3試合、合計各チーム33試合で順位を決定します。昨年はダナンが優勝、ハノイが準優勝でした。

各チームとも、企業及び地方公共団体がスポンサーになっていますが、最近ではベトナム経済の停滞から経営難に陥っているチームも出てきていると報じられています。

昨年初頭、ベトナム政府首相が「2020年までに、アジア大会、アセアン大会等、アジアにおける主要大会で優勝することを目標に強化育成、そして2030年までにはアジアのサッカーの中心国の一つになる。」としています。

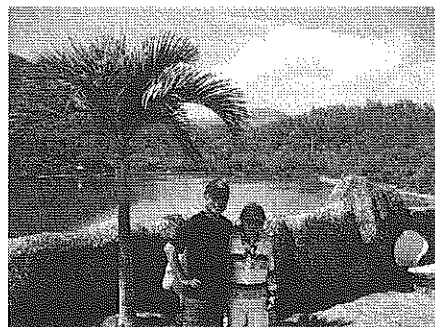
昨年8月、VFCとJリーグとの間でパートナーシップ協定が締結され、大東チェアマンがその調印のため来越しました。Jリーグの試合放映、又今年の3月には、コンサドーレ札幌とベトナムTOPリーグ(Vリーグ)の1チームである「Dong Tam Long An」との間で協力提携が結ばれました。

又、今年は日本とベトナムの間で外交関係成立40周年に当たります。多くの記念行事が催されていますが、その一つとして、6月1日~4日、鹿島アントラーズと川崎フロンターレが来越し、ベトナムU23、及びVリーグのビンズオンと友好試合を行います。

現在、ベトナムサッカーの実力はアジア地区にあって中位ですが、ご紹介した通り、政府を挙げてベトナムサッカーの強化に取り組もうとしております。

日本のサッカーが、その強化策の一役を担っていることは日本人にとって嬉しいことであり、着実に強化されてゆくことを祈ります。

皆様のご健勝をお祈りし、帰国後の再会を楽しみにしております。



2012年度

堺サッカー連盟1部リーグ戦績

2012年

- 8/5 0-5 新洋海運(棄権敗)
- 9/17 1-5 上野芝
- 10/14 1-0 プライド
- 11/3 0-5 ヤングタウン
- 12/23 0-5 フェニックス(棄権敗)

2013年

- 2/3 6-0 LIO
 - 3/3 0-3 Jany's
- 2勝5敗(中、棄権敗2)2013年度は2部からスタートです。

2013年度

堺サッカー連盟種目別優勝大会

- 6/2 0-1 羅笑門

2013年 初蹴り会

恒例の初蹴り会が1月2日母校グラウンドにて開催しました。

今年も晴天のもと参加者も60名を数えました。若手OBも参加してくれましたが、高30回代の卒業生が0名で来年は是非出席をして頂き初蹴り会をより一層盛り上げて下さい。

■ベトナムのサッカー情報

松野良一(高18回)

私は現在、2010年末から、家内と共にベトナムのサイゴンから南東約100kmに位置するVung Tauという町にきています。早や2年半が過ぎ、社会主義国で仕事をする上での困難な点や、許認可行政に伴う問題等多くの困難、フラストレーションする点が多いですが、物価の安さ、食事の美味しさ、そして仕事を離れたときの人間味の良さ等生活面では結構enjoyしております。

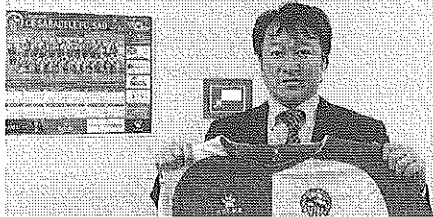
ベトナムではサッカーは、国民に最も人気のあるスポーツです。

新聞やTVでは、国内リーグのほか、英国プレミアリーグ、スペインリーグ、イタリアリーグ等の結果が報じられ、特にTVでは、LIVEや録画がほぼ一日中で放映されています。

Jリーグとベトナムプロフェッショナルサッカー株式会社(VFC)との間で協力協定が締結されたことにより、昨年8月からは、日本のJリーグの試合が各節2試合(LIVE、録画各1)の放映が始まっています。

VFCがプロリーグ(Vリーグ)を運営、一部リーグ今年からは12チー

**■ヨーロッパ市場への
日本人選手の登竜門として
スペインサッカー2部リーグCEサバデル
オーナー 坂本圭介(高39回)**



三国丘高校同窓生のみなさまには、こうしてクラブ通信に寄稿させていただくまでに色々な縁を感じました。どれもこれも、一つの学び舎に集い志を高く持った仲間の中に根付いた文化がもたらしてくれた賜物だと感じています。

私が16年前に三国丘高校を巣立ち紆余曲折ののち昨年、ふとしたきっかけでスペインのサッカーリーグ2部のCEサバデルというチームを買収することになりました。日本人で初めてのスペインのプロチーム買収ということで、その準備を始めた段階から思わぬところから情報がリークははじめ、南米やヨーロッパの企業との買収合戦となりましたが、大きな信念と夢をもって乗り越えて、2012年7月、買収の成功に至りました。

最高峰リーグと言われるスペインリーグへの挑戦ですから、暗中模索の手さぐり状態が続きますが、「日本人チームと日本人選手で挑むスペインリーグ」、「日本人選手のヨーロッパ市場への登竜門」、そして、「リアルやバルサを相手に日本人チームで勝利し、このチームに関わった選手たちが日本代表として戦い、ワールドカップを制する!」という大きな目標が、闇の中の一筋の光として遠くから私の足元を照らしている気がします。

高校を卒業してから大学、社会に出て齢を重ねるごとに、人生の正解はどこにもないということに気づきはじめ、45歳になろうとしている今は、高い目標を設定してひとつひとつ土台から積み上げていくことにしか真実はないと思っています。

三国丘で過ごした3年間を通じて、「高い目標を掲げる」、「敢然と立ち向かう」、「しっかり準備をする」、「努力を続ける」、「ひとつひとつ積み上げる」という人間として社会で生きてい

くための基礎が形成されました。優秀な諸先輩方の功績をニュースで耳にするたびに、「三国丘の同窓生」というだけで、自分が同じ学び舎で、そして、その文化を共有できていることを誇りに思い、そしてその誇りに値する人間に成長できるようにがんばりたいと考えていたことを思い出します。

20歳後半から40歳にかけては、ただひたすら高い志をもってビジネスのフィールドに邁進してきました。何もわからないところから自分ひとりでこなす仕事が5年、チームリーダーとして進める仕事が5年、会社の代表として進める仕事が8年といったところでしょうか。会社の代表として仕事をするなかで、会社の上場、会社が買収される経験をして、社会的な意味でのターニングポイントを経験することになりました。振り返ってみると、一つの役割で頑張れることなんてわずか5年しかないんですね。5年を一区切りに仕事の役割が変化しないと次のステージがやってこないのです。

私には不安がないのか? いえいえ、不安だらけです。なんてたって、高校時代は落ちこぼれでしたから。ただ「先輩たちが偉業を達成できるなら自分にもできるかも」、「失敗しそうになったら同窓のよしみで多分、助けてくれるよ」という不思議な安堵感に裏打ちされながら頑張れたのは確かだと思います。表舞台に出る決心をした今、今度は少しでも同窓生の皆さんにお返しをする側になれるように頑張りたいと思っています。

私はこれから5年から10年の時間軸で、CEサバデルというチームを通じて、サッカーという分野における日本人の選手、指導者、経営者の育成システムを確立したいと考えています。サバデルの話をするところがありましたが、同窓生の「落ちこぼれ」が奮闘して頑張っていることを頭の片隅で思い出してください。そして、「落ちこぼれ」でもやれることがたくさんあるので、みなさんの力を発揮すればもっと素晴らしいことがたくさんできると思います。築き上げた基礎を使って、高い目標を成し遂げてください。そして、余った力は… ぜひ、サバデルを助けてください。

応援よろしくお願いたします!

■第3回げんき会

平成25年4月11日
於:大阪ゴルフクラブ

春爛漫の佳き天候に恵まれ、川淵三郎氏を中心に三国丘高、泉陽高シニアOB達参加者50名で盛大に開催されました。三国丘SCのシニア11名が参加して頂きました。優勝川淵三郎氏(高7回)準優勝永重隆司氏(高12回)で盛り上がった一日でした。



**■第33回三国丘高校
サッカー部OB会コンペ**

非常に良い天気にも恵まれた5月22日(水)泉ヶ丘C.Cにて開催しました。三丘サッカー東京から栗原聡さん(高25回)、米田和威さん(高27回)が参加して頂き、米田さんが優勝、栗原さんは飛賞と幹事の配慮が行き届いたコンペとなり楽しい会話で一日を過ごしました。



**■第34回三丘体育会
ゴルフコンペ**

4月16日(火)秋津原G.Cに於いて各運動部から86名の参加者で開催されました。

今年の幹事クラブは柔道部でした。クラブ対抗では我がサッカー部は永重隆司(高12回)、種田裕一(高21回)、高田篤(高34回)、太田勝啓(高34回)の四君の頑張りで3位に入賞しました。

2014年の第35回三丘体育会コンペはサッカー部が開催幹事の大役を担いますので、OB会として一大プロジェクトとして取り組みたいと思います。準備委員会を設けて開催設定をしなければなりませんので多くのOBのご協力をお願いいたします。

事務局だより
年会費納入のお願い

OB諸兄には日ごろからOB会の活動にあたたかいご支援を賜りまして厚くお礼申し上げます。今年度の年会費につきまして、昨年末から多くのご納入を頂いていますが、まだの方はご協力のほどお願い申し上げます。

25年度 1月～12月
(年間) **3,000円**
同封の郵便払い込み用紙(手数料不要)をご利用ください。
すでに払い込み頂きました諸兄姉はなにとぞご容赦くださいますよう。

現役の活動状況

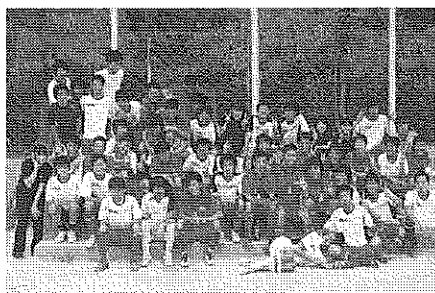
平成25年度大阪高校春季サッカー大会

6/2 0-0 住吉(pk負け)

高円宮杯U-18サッカーリーグ2013
大阪2部C・Dグループ

2/3 1-1 太成学院大学 3/27 1-2 大阪桐蔭
2/17 1-5 芥川 5/3 2-3 千里青雲
3/10 0-3 常翔学園 6/9 1-1 北千里
3/20 2-0 商大高

1勝2分4敗 8チーム中7位です。



サッカー部顧問兼監督
丸山 明

現在59名の部員と6名のマネージャーで65名の大所帯のクラブになっています。2月には兵庫県で開催されたフェスティバルに参加出来、四日市中央工業、東福岡、静岡学園などの強豪とも練習試合を経験し、3月には茨木高校との合同で、韓国遠征をさせていただき、11名の部員が韓国のサッカーエリートチームとの交流を通

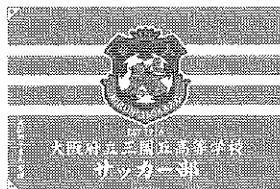
じて、素晴らしい経験を積むことが出来ました。しかし、春季大会では1回戦でPK負けを喫し、残念な結果になりましたが、選手たちは前向きに頑張っています。リーグ戦も前期7試合を終了し、1勝2分け4敗と下位にいますが、後期に巻き返しを強く決意しています。尚、3年生6名が選手権大会に向けての意志を持っており、心強く感じています。なかなか成績を残せてはいないのですが、保護者の皆様やOBの皆様の応援に心から感謝しております。今後ともよろしく申し上げます。

保護者会会長 林 豊

第4期三国丘高校サッカー部保護者会会長になりました林です。常にのびのびとしたプレー、パフォーマンスが出来る様に、前年度迄の歴代会長と同様、後方支援に務めたいと思います。また、諸先輩方におかれましては、お時間の許す限り、後輩達に叱咤激励をいただきます様、グラウンドにてお待ちしております。

サッカー部部旗

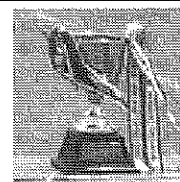
サッカー部高校65回卒業生一同から卒業記念としてサッカー部の立派な部旗が寄贈されました。



タテ140X
ヨコ210cm

第20回川淵杯

泉陽高校定期戦



8月4日(日)
13:00~17:00
於・J-Green堺

真夏の恒例行事を開催します。昨年も現役、OB、保護者会の方々60名近くの参加をして頂きました。今年は特に多くの若手OBの参加を期待しています。

訃報

納 善一さん(中48期)

平成24年12月31日 ご逝去
終戦の年に、いち早く何も無い処から堺中の蹴球部を立ち上げ再興に尽力されたメンバーのお一人でした。また昭和38年から昭和48年まで母校の監督を務められました。

八百吉孝さん(高23回)

平成25年1月15日 ご逝去

佐野 仁さん(高30回)

平成25年4月 ご逝去

お三方のご冥福をお祈りいたします。

平成24年度会計報告

(平成24年12月31日現在)

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	130,113	通信、送料、事務費	129,640
年会費	318,000	会議室借料	0
寄付金	26,420	サッカーニュース印刷費	74,340
サッカーニュース広告	100,000	泉陽定期戦負担分	73,200
泉陽定期戦当日会費	27,000	ホームページ維持費	48,520
雑収入(預金利息)	8	三丘体育会費	25,000
Tシャツ、ユニホーム売却	6,000	慶弔見舞い	1,837
その他(立替費入金他)	0	初戦り会費用	932
		現役活動補助	50,000
		リーグ加盟関係費	129,855
		次期繰越金	74,217
合計	607,541	合計	607,541

整形外科・内科

河合クリニック

院長 河合 潔 (高校21回)

〒594-0073 和泉市和気町2-1-1 和泉市役所南500m
TEL.0725-41-0053 FAX.0725-41-8719
ホームページ <http://www.sakai.zaq.ne.jp/kawai-clinic/>
Eメール k-kawai@osaka.med.or.jp

増田歯科医院

院長 増田 博文 (高校28回)

〒591-8023 堺市北区中百舌鳥町6-9-9 8-3
公園団地入口
TEL/FAX 072-257-0053